

発行日
2020.8.1

第164号

西讃地域の多様な担い手紹介シリーズ⑱ ～集落営農組織紹介～

若手中心のグループ活動で農作業受託型の組織設立！
～若い力で明るい農業を～



岡田能和 代表

こっき
観音寺市豊浜町 克己営農組合

克己営農組合は、地域農業の継続的な経営発展のため、生産コストの低減と効率のよい営農を進める農作業受託型の営農組合で、平成31年3月23日に設立されました。

活動エリアの観音寺市豊浜町和田の本村地区では、レタス等の野菜と水稻を組み合わせた複合経営を行っている認定農業者や水稻を中心とした兼業農家等が混在しています。同組合は、農業者の高齢化と減少が深刻化している中、地区の若い農業者が集い、地域農業について話し合う場ができればという想いで組織活動をスタートし、水稻や野菜の作業受託に取り組んでいます。

組合員は現在19名で、そのうち過半数の10名が50歳以下の若い世代で構成されており、地元の顔なじみならではのつながりを重視した組織体制で活動しています。また、地域では、耕作放棄地対策として、新たにレモンの栽培にも取り組んでおり、その管理作業の受託についても進めています。

岡田能和組合長は、「若い農業者を中心に、集い、話し合い、明るい地域づくりにつながる活動で農地の有効活用、効率的な営農に貢献していきたい。」と抱負を語ってくださいました。

複数の市町村で営農する 認定農業者の手続きが変わりました

●認定農業者制度とは

農業経営基盤強化促進法に基づき、農業者が作成する**効率的・安定的な農業経営を目指す**目標が記載された農業経営改善計画を認定する制度です。認定農業者に対しては、融資制度、農地流動化対策、担い手を支援するための各種施策を実施しています。

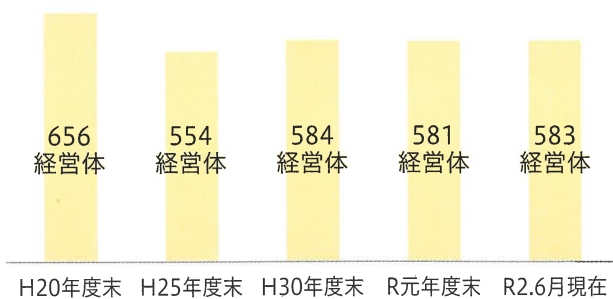
●経営改善計画の記載内容

- ①農業経営体の営農活動に関すること（年間所得、労働時間等）
- ②農業の経営拡大に関すること（作付面積、飼養頭数等）
- ③生産方式の合理化に関すること（機械・施設の導入 農地の集約等）
- ④経営管理の合理化に関すること（簿記記帳等の会計処理、経営の法人化等）
- ⑤農業従事者の態様の改善に関すること（家族経営協定、人材確保にむけて取組等）
- ⑥その他の農業経営の改善に関すること（制度資金の予定、関連事業者の措置等）

●管内の認定農業者の状況

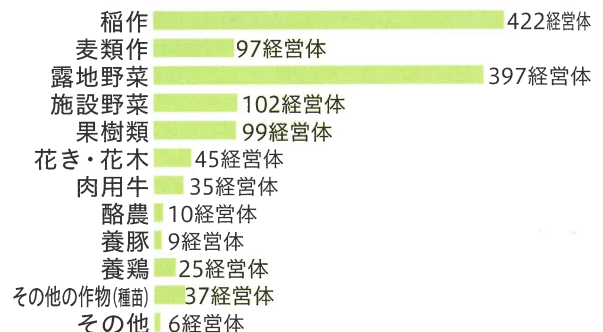
管内の認定農業者数は高齢化の影響で減少傾向でしたが、認定新規就農者からの申請や法人経営体の申請により横ばい傾向です。

管内認定農業者数の推移



農業経営改善計画に記載されている営農類型は、8割以上が複合経営で204経営体が「稲作+露地野菜」を含んでいます。

経営改善計画に記載のある営農類型



従来、複数の市町村で営農する場合には、それぞれの市町村に経営改善計画の認定申請を行う必要がありましたが、営農区域ごとに申請先が一本化されました。

農業経営を営む区域が、複数市町村にまたがる場合、

●**単一都道府県内に存する場合は都道府県知事**

●**複数都道府県にまたがる場合は国(地方農政局長又は農林水産大臣)に認定を申請することになります。**

(農業経営を営む区域が単一市町村の範囲内の場合は、従来どおり市町村に認定を申請します)

農業経営を営む区域		認定者
単一	単一市町村の区域内	市町村長
複数 市町村に またがる	単一都道府県の区域内	都道府県知事
	複数都道府県にまたがる	地方農政局長
	単一農政局の区域内	農林水産大臣
	複数の地方農政局の管内にまたがる	農林水産大臣

複数の市町村で営農している方は、お早目に西讃農業改良普及センターまでご相談ください。

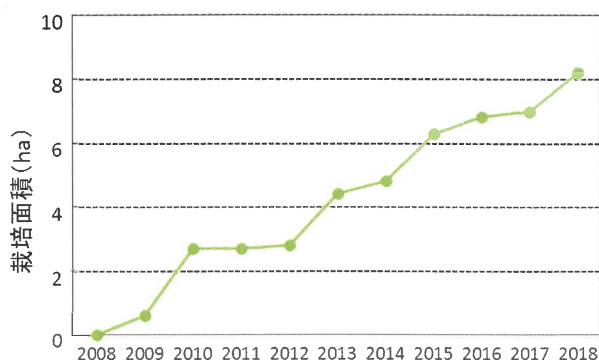
「シャインマスカット」生産状況

～高品質生産に向けて～

「シャインマスカット」は農研機構が「安芸津21号」と「白南」を交配して育成した品種で、2006年に品種登録されました。

西讃地域でも、2009年から栽培が始まり、年々栽培面積が拡大しています。

西讃地域における「シャインマスカット」栽培面積の推移



香川県産「シャインマスカット」は、「ピオーネ」とともに一定の基準を満たす果実を県が推奨する「さぬき讃フルーツ」として有利販売を行っており、全国トップの単価で販売されるなど、県内外から高い評価を受けています。



令和元年産「シャインマスカット」販売状況

等級		出荷量 (t)	単価 (円/kg)
さぬき讃 フルーツ	赤秀	9.9	2,834
	青秀	50.4	2,494
レギュラー		39.2	1,546

生理障害「カスリ症」

「シャインマスカット」は、成らせ過ぎによる樹勢の低下が原因である「糖度不足」や「カスリ症」の発生が問題となっています。

「カスリ症」は、黄緑色系品種で発生する果皮の褐変障害であり、果皮細胞の老化現象であるといわれており、現在のところ、画期的な対応策はありません。

普及センターでは、少しでも「カスリ症」の発生リスクを軽減するため、**適正着果量(6房／主枝1m両側)・適正な房の大きさ(約650g)**を遵守し、樹勢を中庸に維持することで速やかに糖度を上昇させ、適期に収穫することを推奨しています。

また、発生率低下に向けて、栽培環境条件(土壌、光、温度等)について調査を行っています。



「カスリ症」果実

「香川県農業士」「香川県名誉農業士」をご紹介します

5月8日に西讃地区で、9名（うち5名が新規）の方が「香川県農業士」に認定されました。今後、担い手の育成指導や地域のまとめ役として、ご活躍されることを期待しています。

また、長年、農業士として活躍された3名の方が退任され、「香川県名誉農業士」の称号が付与されました。

●新たに「香川県農業士」に認定された方



山下 大輔
(観音寺市大野原町)
露地野菜、米、麦



岡田 能和
(観音寺市豊浜町)
野菜、米



真鍋 基彦
(三豊市高瀬町)
露地野菜



組橋 聖司
(三豊市仁尾町)
果樹



近藤 晴幸
(三豊市山本町)
果樹・タケノコ

●「香川県農業士」に再認定された方

安藤 啓介 (観音寺市八幡町) 施設・露地野菜

臼杵 英樹 (三豊市高瀬町) 露地野菜、タケノコ等

藤岡千恵美 (観音寺市大野原町) 露地野菜、米

辻野 行則 (三豊市高瀬町) 露地野菜、果樹等

●「香川県名誉農業士」の称号を付与された方

岡田 博之 (三豊市詫間町) **白川 俊光** (三豊市山本町) **野口 精志** (三豊市財田町)

「令和元年度西讃農業改良普及協議会表彰」受賞おめでとうございます

地域の農業振興に貢献された4名の方に、西讃農業改良普及協議会表彰状が授与されました。受賞された方々の今後ますますのご活躍を祈念いたします。



小出 伯行
(観音寺市大野原町)
露地野菜



藤井 英一
(観音寺市新田町)
露地野菜



造酒 安文
(三豊市豊中町)
果樹



小西 忠男
(三豊市高瀬町)
茶・施設野菜